

【都筑区】令和5年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和5年9月5日（火）10：00～11：10
場 所	6階大会議室
出席者	<p>【座長】市来栄美子 議員</p> <p>【議員：3名】長谷川琢磨 議員、白井亮次 議員、磯部尚哉 議員</p> <p>【都筑区：30名】佐々田賢一 区長、落合明正 副区長、深澤義一 災害対策担当部長（都筑消防署長）、林千賀 福祉保健センター長、浦崎真仁 福祉保健センター担当部長、小島淳 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和4年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について</p> <p>2 令和5年度 都筑区自主企画事業の執行状況について</p> <p>3 令和6年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方について（案）</p>
報告事項	都筑区制30周年に向けた取組について
発言の 要 旨	<p>【つづき健康づくりサポート事業について】</p> <p>長谷川議員：昨年度はコロナの影響で業務の中止や縮小したということだが、今年は通常どおりに戻る認識でよいか。</p> <p>室山福祉保健課長：今年度予定しているものについては、ほぼ順調に実施している。</p> <p>【災害にそなえる自助共助の推進事業について】</p> <p>長谷川議員：補助金交付の残というのは、補助金の申請がなかったということか。</p> <p>室山福祉保健課長：補助金については、3種類の金額を設定しそれぞれ傾斜をつけて取り組んでいただいているが、上限までは必要が無かったことによる補助金の設定上の残となる。</p> <p>長谷川議員：いろいろと活動していると使い道があるはずだが、残っているということはコロナの影響で動きが悪かったということか。</p> <p>室山福祉保健課長：今年度の補助金の申請の状況は昨年度と同様だが、地</p>

域の活動についてはお祭りや地域行事も盛んになっている。そのため、災害時要援護についてだけが通常と違っていたとは思わない。地域において活動しにくい状況があれば、一緒に取り組みを検討していきたい。

【6階の食堂跡地について】

長谷川議員：6階の食堂跡地については、どのように活用するのか。

佐藤総務課長：昨年12月に食堂の運営事業者が撤退したことで、跡地の活用方法について現在検討している。この跡地の一部を活用して、土木事務所の環境改善として女性職員用のシャワー室等を設置できるか検討している。

長谷川議員：性別を問わず働きやすい環境作りは重要だが、現状、土木職員の女性シャワー室はどうなっているのか。

佐藤総務課長：女性職員用のシャワー室を6階の食堂跡地に設置できるかなど、技術的な調査を進めている。現状としては、区役所内に女性職員専用のシャワー室がなく、男女共用のものが3室ある。ただ、男性が使っているシャワー室のすぐ隣で女性が使用することが難しいことや、シャワー室が廊下に面していることから、実態は男性専用になっている。

【区役所会議室について】

長谷川議員：区役所2階奥の狭いスペースで、職員が打合せをしていることがある。市民が利用しているすぐ近くで個人情報を含む話をするのはいかがなものか。会議室のスペースは足りているのか。

佐藤総務課長：ご指摘のとおり、特に2階では手狭となっている職場もあり、廊下の奥のスペースを活用して打合せスペースを設けているが、会議室のスペースが十分確保できているとは言えない状況である。

長谷川議員：6階大会議室は待機場所がないため、会議が始まるまでの間、廊下に立って待たなければならない。会議によっては一時保育のニーズがある。区民の様々なニーズに応えられているのか。

佐藤総務課長：6階大会議室を利用される方に、廊下で立ってお待ちいただくなど、ご不便をおかけしている。一時保育については、廊

下の奥のスペースを活用したり、別フロアを使って対応している状況。利用される方にとっては、ご不便をかけていると思う。

長谷川議員：土木事務所の環境改善、不足している会議スペースの確保、きめ細かいニーズへの対応について、区役所の最後のフロンティアである食堂跡地を活用して、土木事務所の環境改善、残りのスペースは多目的にして課題の改善に取り組んでほしい

落合副区長：6階の食堂跡地は貴重なスペースと考えている。厨房設備を活用して土木事務所の環境改善について取り組んでいくほか、残りのスペースについて、多目的に利用できるスペースも検討していきたい。

【ハウスクエア横浜の跡地利用について】

白井議員：ハウスクエアが令和7年3月31日に事業終了するが、その跡地について、何か検討しているか。

橋本区政推進課長：ハウスクエア横浜が位置する中川駅周辺は、地域の方がまちづくりのプランを策定するなど、かなりまちづくりへの関心が高い地域となっている。跡地利用については、区から建築局へ十分に検討するように申し入れを行い、後継事業者としっかり議論できるようにしていきたいと考えている。今後、何か情報があれば、随時、提供していきたい。

【介護事業所のBCP策定の義務化について】

白井議員：2021年に介護方針の改定があり、介護事業者はBCPの計画を今年度末までに定めることになっており負担になっている。区として介護事業者に適切なフォローをしているのか。

石井高齢・障害支援課長：令和5年6月に都筑区医師会をはじめ、医療・介護に関わる多職種連携の一環で、BCP推進委員会が設置され、区役所はオブザーバーとして参加している。委員会には介護事業者の団体も参画しているので、そのような場を接点として、防災に関する情報や局で実施している個別避難計画のモデル事業等の取組みについて情報発信し、連携していきたい。

白井議員：区でも相談体制を作っていただきたいと思うがいかがか。

石井高齢・障害支援課長：ご相談いただければ対応していきたいと考えている。

【つづき健康づくりサポート事業（生活習慣病・がん予防啓発事業）について】

磯部議員：がん検診の受診率について知りたい。

室山福祉保健課長：令和3年度の実績は、胃がん3.8%、子宮がん38.1%、乳がん17%、大腸がん12.6%、肺がん10.7%です。

磯部議員：この数字は他区と比べてどうか。

室山福祉保健課長：胃がんは18区中11位、子宮がん1位、乳がんは1位、大腸がんは9位、肺がんは8位で、女性のがんについては、受診率は高くなっているが、全体的には平均的となっている。

磯部議員：周知にあたりどのようなことを行っているか。

室山福祉保健課長：乳がんについては、お子さんの乳幼児健診の機会をとらえて女性の保護者の方に触診の体験をしていただいている。その他、パネル展や食育健康フェア・区民まつりなどの場で啓発をしたり、保健活動推進員に地域の取組みの中で周知していただいている。今年度は10月1日のピンクリボンキャンペーン時にイベントを行いたいと考えている。

【災害にそなえる自助・共助の推進事業（災害時のペット対策事業）について】

磯部議員：今月開催するペット防災講演会の具体的な内容は。

岸生活衛生課長：ペット防災講演会では、NPO法人ペット防災サポート協会の方を招き、ペットに特化した避難所運営のシミュレーションを行う予定。また、1階区民ホールで我が家のペット防災展を実施予定。一般の飼い主の方から募集したアイデアを写真パネル展で紹介する。

磯部議員：ペット避難所開設キットの配布が24拠点とあるが、どれぐらいの数を配布する予定か。

岸生活衛生課長：避難所開設の際にペットを連れた方を円滑に受け入れできるグッズが入っているもので、1拠点につき1セットずつ配布する。

【在住外国人支援 国際交流ラウンジについて】

磯部議員：国際交流ラウンジの利用実態は。

倉田地域振興課長：主に在住外国人や外国につながる子どもの支援。さらにその支援ボランティアに対する支援や、国際交流に関する地域の取り組みを担っている。MYプラザが一番力をいれているのは、日本語教室と子どもたちへの学習・生活支援。小中学生に追加して、今年度から高校生にも拡充して実施している。

国際交流については、ボツワナとの児童画展の交流が今年10年目を迎えた。今年から新栄高校との連携なども始めている。

磯部議員：コロナも落ち着き外国人も増えてくる状況だと思うが、現状、どの国籍の利用者が多いのか。

倉田地域振興課長：日本語教室等、外国人の利用は3、40か国と多国籍に渡っている。もともとは中国や東南アジア圏が多かったが、最近ではパキスタンやネパール国籍が増えている。

【外国人への防災対策について】

磯部議員：外国人への防災対策の周知はどのようにしているのか。

倉田地域振興課長：転入者については、外国人向け転入者キットに資料を入れて配布している。MYプラザでは様々なチラシを作成・配架したり、プラザまつり等を通じて啓発している。

佐藤総務課長：令和5年度に防災マップの多言語化について予算計上している。災害への備えの情報などを英語・中国語・韓国語に翻訳して区のホームページに掲載する予定。

白井議員：地下鉄の駅の中に、地域防災拠点の訓練日など、防災情報が見当たらない。外国人にとっては、駅は身近な場所なので、交通局と連携して対応してほしい。

【メイドインつづき推進事業について】

磯部議員：8月1日に市役所でのイベントを見学したが、非常に多くの子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらえるいい機会であった。もっと拡大して実施してほしいところだが、昨年度より今年度の予算額が減っている。今後の展開を教えてください。

橋本区政推進課長：8月1日のイベントは、延べ1,500人ほどの参加があり、大盛況であったと考えている。予算額については200万円ほど減額になっているが、100万円分については、局との調整により区配に転換している。また、経費の見直しも行ったため、

区づくり推進費としては減っているように見えるが、実態として変更はない。中小企業支援は区の重要事業と認識しているため、今後も各企業の皆様と議論をしながら進めていきたい。

【子育て支援関係予算について】

市来議員：令和4年度に比べて令和5年度に予算が減っているのは、時代に逆行しているようにみえるが、その背景を知りたい。

上田こども家庭支援課長：減額しているように見えるが、その分は局の区配予算を活用している。また、子育て世代が大きく減っているわけではないが、出生数は減少傾向にある。

【令和6年度予算編成の考え方について】

白井議員：基本姿勢として、デジタル技術による情報発信力の強化とあるが、具体的にどのようなものか。

佐々田区長：ホームページに情報を載せるだけではなく、SNS等も活用して色々な情報をしっかりと発信をしていく。

磯部議員：事業評価の結果を考慮して予算を編成していくのか。

佐々田区長：事業の効果がどう出ているかをしっかり検証する必要があるので、事業評価だけではなく、市民意識調査や区民意識調査の結果も踏まえて編成していきたい。

【都筑区制30周年に向けた取組について】

白井議員：都筑区は自治会加入率が57.7%と市内最低だが、人との繋がりがあると、定住意識が高まる。30周年だけということではなく、地域での繋がりを意識して、キャッチコピーを作っていただきたい。また、来年の区民まつりはセンター北も活用していただきたい。

佐々田区長：30周年の機運醸成ということで、ロゴマークやキャッチコピーも作成していきたい。来年の区民まつりの開催については、ふるさとづくり委員会の皆様方と相談をさせていただき、区全体でお祝いできるよう引き続き検討していきたい。

備 考